



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 5. 31(火)
No. 6
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

一人一人が主役として輝いた運動会！～ご協力ありがとうございました～

運動会前は、新型コロナウイルスの感染状況、さらには雨が降りそうな天気予報にドキドキの毎日でしたが、5月29日(日)、予定通り運動会を開催することができました。多くの保護者の皆様に参観いただき、誠にありがとうございました。

全校児童548人と先生方が力を合わせて、一人一人が主役として輝き、運動会を見に来てくれる家族に感動をあたえる運動会にしようと、毎日練習に励んできました。その成果が発揮された、素晴らしい運動会になりました。



きびきびとした赤団の応援演技



団長の声の大きさに圧倒された白団演技



優勝を勝ち取った青団の応援演技



3、4年生表現「よっちよれソーラン」



5、6年生表現「泗水Color 2022」

図書室は本に親しむ子どもたちで大盛況！～司書・福吉里加子先生の紹介～

この4月から、泗水小図書室を運営する司書として福吉里加子先生が勤務されています。福吉先生は、長年、泗水図書館で館長を務められ、令和2年には図書館関係者文部科学大臣表彰も受賞された司書のスペシャリストです。福吉先生は、夏休みは泗水図書館に勤務される予定で、魅力ある学校図書館をつくるために、「公共図書館と学校図書館をつなぐ」役割を担って配属されました。

福吉先生にこの2ヶ月間の泗水小勤務の感想を尋ねると、「本を読むことが好きな子どもたちが思っていたよりも多かったですね。図書室には、本を読んで興味をもったことを質問に来てくれたりもします。図書室が子どもたちにとって、とても大切な『場所』であることを実感しています。1冊の本を通じて、『信頼関係』や『新しい扉』を開くお手伝いをしたいと思っています。」とおっしゃっていました。

先日、図書室の黒板に、「里加子先生が喜ぶように本をたくさん読もう！」と書いてありました。今年度から、1回の貸出冊数を2冊から3冊に増やしたり、図書室のレイアウトを変更したりして、泗水小の子どもたちがもっともっと本に親しみ、豊かな知識と感性を育ててほしいと取り組んでいただいています。保護者の皆さんも福吉先生をご存じの方が多いと思います。来校されましたら、図書室にもぜひお立ち寄りください。



屋休みの図書の貸出しの様子



折り紙の本を見ながら折り紙を折るコーナー

★命を守るために★

田植えの時期を迎えて、通学路周辺にある用水路の水量が大変増えています。昨年度、用水路に近づいて、赤白帽子を流されてしまった子どもが2名いました。今年度、流水に足をつけて遊んでいる子どもがいたという情報があり、全校児童に注意を呼びかけたいところです。梅雨に入ります。各ご家庭でも、用水路や川に近づかないようにご指導をお願いします。